

■■■ 福祉社会学会 ニュースレター 第 32 号 ■■■
Japan Welfare Sociology Association Newsletter No.32

http:// jws-assoc.jp/
E-mail: ws@univcoop.or.jp

***** INDEX *****

- 福祉社会学会・第12回大会 テーマセッションのテーマとコーディネーターの募集について
(2月12日締切)
- 福祉社会学会・第12回大会 若手企画セッションのテーマとコーディネーターの募集について
(新企画 2月12日締切)
- 福祉社会学会・第12回大会 自由報告の募集について (3月15日申込締切予定)
- 福祉社会学会・研究会のご案内
- 理事会報告
- 委員の変更
- 新入会員の紹介
- 事務局からのお知らせとお願い

■福祉社会学会・第12回大会 テーマセッションのテーマとコーディネーターの募集について

福祉社会学会・第12回大会(2014年、開催校=東洋大学)では、前回大会と同様に、テーマセッションを公募することとなりました。テーマセッションにおいては、一般性の高いテーマを扱うシンポジウムとは異なり、コーディネーターの方を中心に福祉社会学における特定のテーマを多様な角度から議論していただきます。このテーマセッションのテーマとコーディネーターを下記の要領で募集します。大会は6月28日(土)・29日(日)、東洋大学白山キャンパス(東京都文京区白山5-28-20)にて開催される予定です。なお、部会編成の都合上、発表日時のご希望には応じかねますのでご了解ください。

- ①テーマセッションは、今号ニュースレターでテーマとコーディネーターを募集し、採択されたテーマについて2月下旬発行予定のニュースレターで報告者の募集を行い、コーディネーターの調整によって報告者を決定して設置されるものです。調整の結果不採択となった場合や、部会が成立しなかった場合も、報告希望者は大会の他の自由報告部会で報告していただくことができます。
- ②コーディネーターには、報告者・報告順の決定に加え、当日の司会を行なっていただきます。テーマ採択の決定、報告者の募集などについて2月下旬にお知らせします。
- ③コーディネーター希望の方は、下記の事項を電子メールで、以下の要領でご応募ください。
 - 締め切り：2月12日(水)
 - 申し込み先アドレス：jwsa2014@freeml.com
 - 応募事項：「テーマセッション・コーディネーター申込み」と明記のうえ、下記の事項をもってご応募ください。
 - ・所属
 - ・連絡先(住所・電話番号・電子メールアドレス)
 - ・テーマ(そのまま部会名となります)
 - ・部会趣旨(800字程度。採択された場合は、報告者募集のニュースレターに報告者募集用原稿としてそのまま掲載されます。)

- ④テーマセッション申し込みをされた方に対しては、受理通知を電子メールで返信します。2月12日（水）までに返信がない場合は、東洋大学社会学部・須田木綿子(yukosuda@toyo.jp または 03-3945-7439)にご連絡ください。

<新企画>

■福祉社会学会・第12回大会 若手企画セッションのテーマとコーディネーターの募集について

第12回大会での新しい試みとして、若手企画によるセッションのテーマとコーディネーターを募集します。この場合の「若手」とは、奨励賞の規定にならい、「修士課程入学後13年以内、もしくは博士課程入学後11年以内の会員」とします。

応募された企画の中から、研究委員会が1~2件を目途に採用します。採用された場合には、登壇者への交渉は応募者に行っていただきますが、研究委員会でも希望する登壇者への紹介や交渉のお手伝いをさせていただきます。「こんな方の報告を聞きたい」「このような内容の分科会がほしい」という夢をかなえる機会として、ふるってご応募ください。

① 下記の要領でご応募ください

- 締め切り：2月12日（水）
- 申し込み先アドレス：jwsa2014@freeml.com
- 応募事項：「若手企画テーマセッション・コーディネーター申込み」と明記のうえ、下記の事項をもってご応募ください。
 - ・応募者名と所属（応募者は会員に限ります。登壇、コメンテーター、司会のいずれかを担当してください。）
 - ・連絡先（住所・電話番号・電子メールアドレス）
 - ・テーマ（そのままセッション名となります）
 - ・セッションのねらいや目的、趣旨（400字程度。採択された場合は、報告者募集のニューズレターに報告者募集用原稿としてそのまま掲載されます。）
 - ・登壇者（3名程度）と各登壇者による報告テーマ（登壇者全員が「若手」である必要はありません。）
 - ・コメンテーター（1~2名）
 - ・司会担当者（1名）

*上記のセッション構成メンバー全員が会員である必要はありません。

② 応募にあたってご相談がありましたら、下記の福祉社会学会研究委員が承ります。電子メールでご連絡ください（五十音順）。

井口高志（奈良女子大学） igutaka@cc.nara-wu.ac.jp

石橋潔（久留米大学） k.ishi@mbg.nifty.com

岡部耕典（早稲田大学） k_okabe@waseda.jp

菊池いづみ（日本社会事業大学） kikuchi@jcsu.ac.jp

須田木綿子（東洋大学） yukosuda@toyo.jp

寺田貴美代（新潟医療福祉大学） terada@nuhw.ac.jp

平野寛弥（目白大学） h.hirano@mejiro.ac.jp

森川美絵（国立保健医療科学院） m.morikawa@niph.go.jp

- ③ 若手企画セッション申し込みをされた方に対しては、受理通知を電子メールで返信します。2月12日（水）までに返信がない場合は、東洋大学社会学部・須田木綿子(yukosuda@toyo.jp または 03-3945-7439)にご連絡ください。

■福祉社会学会・第12回大会 自由報告の募集について

第12回大会は6月28日（土）・29日（日）に東洋大学で開催されますが、例年通り自由報告を募集します。本大会における自由報告の申し込みは、2月下旬に発行する学会ニューズレターにて説明を行い正式に募集いたしますが、申込書の提出締め切りが**3月15日（土）**、予稿集の締め切りが**4月5日（土）**の予定です。なお、申し込みは電子メールのみの受け付けとなりますので、あらかじめご了解ください。

また、電子メールでニューズレター配信を受けておられる会員の方々には、2月下旬に発行する学会ニューズレターは通常どおりメール配信のみとなります（郵送されません）。自由報告申し込みを検討される場合は、この時期のメールおよび本学会のWEBページに掲載される大会WEBページ（2月下旬に更新予定）にご注意いただき、締め切りなどのお見落としのないようお願いいたします。

学会WEBページのURLは次の通りです。 <http://jws-assoc.jp/>

■福祉社会学会・研究会のご案内

福祉社会学会の主催または共催による研究会が2014年2月以降も予定されています。奮ってご参加ください。詳細は学会ホームページ、または電子メールで配信されますニューズレター号外をご参照ください。

■理事会報告

●福祉社会学会・2013年度・第2回理事会の議事録（一部省略）

日時 2013年12月21日（土） 14時00分～17時10分

場所 東洋大学白山キャンパス2号館6階会議室C

出席者：秋元、安立、井口、稲葉、岡部、後藤、白波瀬、杉岡、須田、高野、田淵、三重野

●報告事項・審議事項

開催に先立ち三重野会長の挨拶が行われた。

1. 第12回大会開催校の須田理事より、大会は2013年6月28日（土）・30日（日）に東洋大学白山キャンパスで開催予定であることなどが報告された。

2. 須田研究委員長より、研究会開催状況、第12回大会の準備状況について報告があった。大会については、大会シンポジウムのテーマ、報告者等の人選を進めていること、開催校企画シンポジウムのテーマを「当事者コミュニティからの架橋」（仮）として準備を進めていること、若手企画セッションを新たに設けること、大会スケジュールを見直し初日午前からの大会開始を試行することなどが報告された。また、研究会は、2013年6月以降3回開催されたことが報告された。

3. 白波瀬編集委員長より学会誌第11号の編集状況について、投稿が12本あり、4本前後が現時点で掲載見込みであること、特集論文、書評論文についても編集作業が進んでいることが報告された。投稿論文の査読において、評価割れとなった論文に対する第3査読者の選考が困難な場合があるため会員以外への査読依頼の際には謝礼を支出すること、投稿論文の応募数をさらに増やすため、投稿締切の時期に対応できる入会承認のあり方を整理することなどが確認された。また、大会シンポジウムを機関誌の特集とするかどうかの判断は、研究委員会と協議し編集委員会で行うことを確認した。

4. 担当理事の稲葉理事より、社会学系コンソーシアムについては、特段検討すべき事項等はないことが

報告された。

5. 担当理事の三重野理事より、協議員会議の議事録をもとに活動状況が報告された。あわせて、社会政策関連学会協議会から届けられた若手教員の雇用環境に関するアンケート結果について会員に情報提供することが報告された。

6. 安立学会賞選考委員長より、新たに船橋恵子会員、杉野昭博会員が選考委員会委員となり委員が確定したこと、2015年大会に向けての選考スケジュールについて報告があった。

7. 高野庶務理事より事務局報告があった。①第11回大会（開催校：立命館大学）の会計報告が承認された。②入会希望者1人の入会が承認された。

8. 庶務理事より、副会長を幹事会構成員とする規約改正について報告があり、改正案が承認された。

9. 庶務理事より機関誌の発行元の変更についての検討を開始し、次回総会での審議事項とすることが報告され承認された。また、事務委託のあり方についてもあわせて検討することが確認された。

10. 三重野会長より今期の企画について説明があり、単行書出版の検討を開始することが承認された。

11. 第13回大会の候補校について意見交換を行い、会長から打診することが承認された。

12. 次回理事会を2014年6月27日（開始時間未定）、東洋大学にて開催予定とすることを決定した。

■委員の変更

社会政策関連学会協議会・協議員について、委員の交代があり、次の体制となりました。

菊地いづみ（日本社会事業大学） 平岡公一(参与協議員)（お茶の水女子大学）

三重野卓（帝京大学）

■新入会員の紹介

(Web版では省略)

■事務局からのお知らせとお願い

●学会10周年記念事業として『福祉社会学ハンドブック—現代を読み解く98の論点—』（中央法規出版）が昨年出版されました。学会の10年の到達点を示す内容となっておりますので、同封の案内をご活用いただき、周囲の方にも広くご紹介ください。

●御住所やEmail アドレスを変更された場合は、必ず大学生協・学会支援センター・福祉社会学会担当までお知らせください（メールアドレス ws@univcoop.or.jp）。年度末になりますと多数の不着が発生しますので、Newsletter を受信できていない会員にお気づきの際は、お手数ですが学会アドレスまでご連絡くださいますようお願いいたします。

【発行・編集】 福祉社会学会事務局